

「たかとり救援基地」から 「たかとりコミュニティセンター」へ



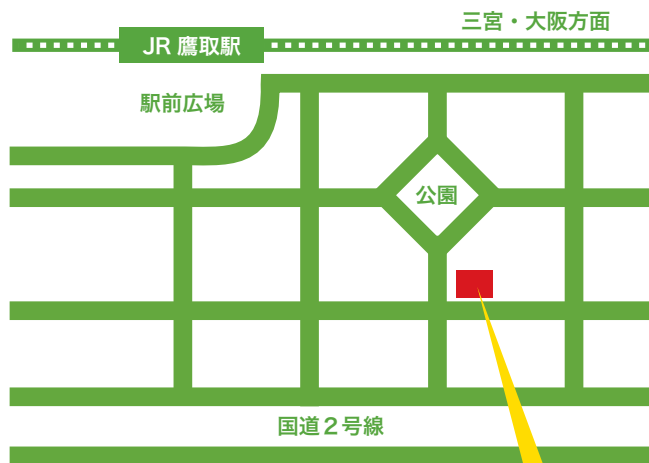
たかとりコミュニティセンターは、1995年の阪神・淡路大震災の際にボランティア活動の拠点となったカトリックたかとり教会敷地内の「たかとり救援基地」がその前身で、外国籍の住民

が全体の10%を占める地域にあります。震災から時間が経過するにつれて、非日常の救援活動の拠点としての役割は、日常的な多文化共生のまちづくりに取り組む団体の拠点へと移り変わり、2000年に法人格を取得して現在の名称となりました。

この地域で、ことば、文化、民族、国籍などが違っていても、同じ住民としていっしょに新しいまちをつくることをめざし、10の団体がネットワークを組んでセンターを構成しています。

それぞれの団体が、多言語での情報提供、教育、ITサポート、高齢者・障害者の自立支援、外国人コミュニティ活動(当事者たちの自助組織として)などの独自の活動を行っています。同時に、団体同士が知恵と人材を提供し合い、共同してひとつのプロジェクトを実施する例も数多くあります。

NPO/NGOが自立した活動を展開しながら、ひとつのネットワーク組織として柔軟に機能しているたかとりコミュニティセンターのあり方は、それぞれの特長をいかした活動をより発展させる形態として、活動に携わってきたメンバーたちによって作り出されたものです。



特定非営利活動法人
たかとりコミュニティセンター

〒653-0052 神戸市長田区海運町3-3-8
Tel/Fax: 078-736-3065
URL: <http://tcc117.jp>
E-Mail: office@tcc117.jp



特定非営利活動法人

たかとりコミュニティセンター



ゆるゆる多文化、いとかし

ここに集う私たちは、不思議な“ゆるさ”を感じています。

「この“ゆるさ”はなんだろう」——。

ちがう言葉がきこえ、子どもが遊び、仕事に取り組む人がいて、語り合う人たちが集まっている…。

そんな人たちが織りなす“ゆるさ”なのかもしれません。

“ゆるい”からつながれる、

“ちがう”のがおもしろい。

たかとりコミュニティセンターへようこそ！

日本に住むスペイン語圏住民自助コミュニティ

ひょうごラテンコミュニティ

Tel/Fax: 078-739-0633

Mail: hlc.jp.info@gmail.com

2000年よりワールドキッズコミュニティ内で活動を始め、2011年4月に独立した団体となりました。南米出身者や日本人のメンバーが中心となり、スペイン語圏出身住民の日本社会での生活向上と地域住民との交流のために様々な取り組みを続けています。スペイン語による生活相談、月刊誌やラジオ番組制作、子どものための母語/学習支援教室などをスペイン語話者が中心になって進めています。

ベトナム人コミュニティのサポート

ベトナム 夢 KOBE

Tel/Fax: 078-736-2987

Mail: vnkobe@tcc117.jp

ベトナム人自身の手で、住みやすいまちづくり、共生社会の実現に向けて、さまざまな活動を行っています。ベトナム語による生活相談、子どものための母語教室、翻訳・通訳など、多種多様な活動に取り組んでいます。さらに、ベトナム人と日本人との相互交流も積極的に行っています。

外国人の子ども支援と教育変革

ワールドキッズコミュニティ

Tel: 078-736-3012 Fax: 078-736-2211

Mail: kids@tcc117.jp

滞日が長期化している外国にルーツをもつ子どもたちを取り巻く環境改善のため、誰もが自分のアイデンティティに自信をもてるような青少年育成活動と、親の住民意識の向上を目指し、外国人コミュニティの自立支援活動を展開しています。さらに多文化な子どもたちによる表現活動“Re:C”にも取り組んでいます。

くらし、介護のお手伝い

特定非営利活動法人 リーフグリーン

Tel: 078-731-8577 Fax: 078-731-8587

高齢者も障がいを持っても、住み慣れた地域で助け合っくらし続けられるように、介護保険制度・障害者自立支援制度はもとより、対象から外れた方のお手伝い（ホームヘルプ、移動支援、子育て支援）をしています。また、出会いの場としての「ふれあいサロン“ゆい”」や「ゆいカフェ」を実施し、お互いが生き生きと安心して暮らせる地域社会を目指しています。

アジア女性の自立生活への支援

特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト (AWEP)

Tel/Fax: 078-734-3633

Mail: awep@tcc117.jp

フィリピンから日本に出稼ぎに来た女性たちの帰国後の支援を目的に1994年に設立しました。阪神・淡路大震災以降は、神戸周辺に住む外国人女性からの相談にも対応しています。その後、アジアの女性たちや小規模生産者が作った製品を紹介し、フェアトレードの形で日本で販売しています。国や性別、出身などの違いによる不平等を生み出す構造を変え、一人ひとりが持つ能力を活かし、協力しながら生活できる社会創りを実現していきたいと思っています。

翻訳・通訳のコーディネート、多言語ナレーション、WEB/DTP制作

特定非営利活動法人 多言語センターFACIL (ファシル)

Tel: 078-736-3040 Fax: 078-736-2211

Mail: facil@tcc117.jp

地域住民である外国人が必要とする情報の翻訳、生活現場に必要な通訳者の派遣など、地域の多言語環境を促進し、また外国人を含む地域の住民や行政機関、医療機関、地域の企業などからの多言語・多文化なニーズに様々な形でお応えしています。専門分野でありながら「ボランティア」の領域であった活動をNPOのコミュニティビジネスとして51言語で展開しています。

まちに住む多様な人々からの発信

特定非営利活動法人 エフエムわいわい

Mail: fmyy@tcc117.jp

「多文化共生と人間らしいまちづくり」をコンセプトに多様な市民が番組をつくり、発信するコミュニティ・メディアです。また、発信だけでなく「まち」の人々が集い、生の情報交換と新たな知恵を創造するサロンにもなっています。インターネットの特性を生かし、長田と世界をつなぐポータルサイトをめざしています。

応援します！NPO活動のパソコンのこと

ひょうごんテック

Mail: tech@tcc117.jp

NPO活動・市民活動の現場では、ICT(情報通信技術)はなくてはならないものです。ICTに伴う様々な問題を解決し、効果的に活用できるよう、IT支援の団体や人のネットワークづくりを目指しています。

世界コミュニティラジオ放送連盟の日本事務局

AMARC (アマルク) 日本協議会

Mail: amarcjp@tcc117.jp

世界117の国・地域で活動する5,000以上のコミュニティラジオ局が連帯し、国際的な協力のもとに、コミュニティと市民参加型ラジオの発展に寄与する活動をしているのが、国際NGO「世界コミュニティラジオ放送連盟(略称:AMARC)」です。

AMARC日本協議会はその日本事務局として、災害エフエム局の支援などに取り組んでいます。

地域のまちづくりマネジメントを目指します

野田北ふるさとネット

Tel: 078-735-9388 Mail: nodakita@gaia.eonet.ne.jp

野田北ふるさとネットは、野田北部地域を愛する組織・団体・個人のネットワークです。震災復興まちづくりの経験を生かし、日常の地域課題解決に協働し、積極的に取り組んでいます。また、それら活動のプロセスで学んだ事例を、内外に発信しています。